

ナイスライフ '89

健康祭・農業祭・体育祭を開催

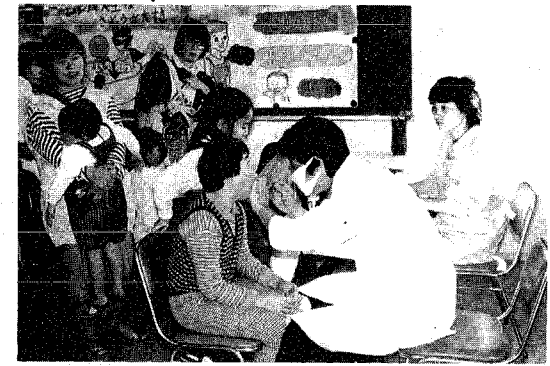
「自分の健康は自分で守る」という自覚を促し、日本の食生活の中心である「米」のよさを見直し、米の消費拡大をはかるために、今年も「ナイスライフ'89」を開催いたします。

楽しい催し物・ためになるコーナーがたくさんありますので、ご家族おそろいでおいでください。

日時 十月二十二日(日曜日)
午前九時～午後三時
会場 中央公民館

主催 小須戸町・小須戸町教育委員会・小須戸町農業協同組合
小須戸町健康づくり推進協議会
●農業祭恒例のコシヒカリアレントの引換券(一人一袋)は全戸配布のチラシについています。

●フィナーレには恒例のもちまきを行います。



空き缶ゼロ作戦!!

十月十五日(日)

小須戸町では、昭和五十七年十一月十四日に「空き缶0の町」を宣言して以来、年二回皆様のご協力により町をきれいにする運動に参加しております。今回は新潟県一斉回収日に合わせて実施いたしますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

日程 十月十五日(日曜日)
※回収地域については、後日案内します。

飲食店調査にご協力ください

通商産業省では、平成元年十月一日現在で第十七回商業統計調査(一般飲食店)を実施します。一般飲食店調査は、国や県市町村における飲食店の育成策や、経営指針を作る資料となります。調査員が伺いますので、ご協力をお願い致します。

なお、調査票に記入された内容は統計以外の目的に使用することとは絶対ありません。

◆点字版を希望者に配布します

年金受給者の心得(受給者のしおり)

障書の年金受給者へのきめ細かなサービスを図るために「年金受給者の心得」と「受給者のしおり」に点字版が作成され、視覚障書の年金受給者で希望する場合に配布することになりました。

この点字版は、国民年金独自のものではなく、船員保険を含んだ厚生年金保険との共通版で、詳しいことは、役場国民年金係へお問い合わせください。

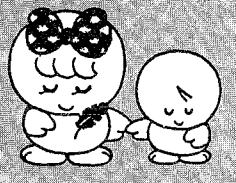
◆配付できる対象者と配付物の
眼の障書を支給事由とする年金受給者のうち、障書の程度が一級又は二級であり、点字版を希望する人に対し、
(1)新規裁定の場合には「年金受給者の心得」
(2)既裁定の場合には「受給者のしおり」が配付されます。

赤い羽根協同募金にご協力ください

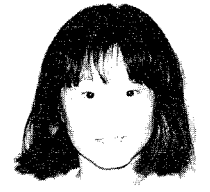
赤い羽根で親しまれて、大きな役割を果たして下さる共同募金運動が十月から十一月まで思いやりはきつと返ってくるをキャッチフレーズと、全国一斉に実施されます。今年も、より一層のご理解と善意によりまして、立派な成績をあげることが出来ます。

皆様からお寄せいただいた募金は、町社会福祉協議会にも配分され、社会福祉、老人福祉、児童福祉等のために使われます。

今年も秋季火災予防運動が十月二十六日から十一月一日の間で県下一斉に行われます。消防団では、火災予防運動期間中、午後八時に一点四十分の半鐘を鳴らしますのでお知らせします。



第十一回新潟県少年の主張 三市中蒲原地区大会



しあわせゲーム

小須戸中学校三年 加藤 映子

私は一冊の本によって自分の考え方や生き方が変わりました。それは『ポリアンナ物語』に出てくる『しあわせゲーム』という考え方に教えられたからです。

『しあわせゲーム』とは例えば、屋根裏部屋に押し込められても、きれいな景色を見ることが出来るからうれし、とか、鏡がないことは、そばかすを見なくてすむからうれし、というふうな、どんなことからでもよいことを見付け出すというものです。

ポリアンナは、他人から見ると不幸だと思うこと、不自由だと思うことを、よいほうに解釈して生活しているのです。こういうものの考え方や姿勢が必要なんだと思いました。

これまで、私は学校に来るのが楽しくありませんでした。

理由はいろいろありますが、その一つに友達関係のわずらわしさがありました。朝、起きた時からゆううつで、仕度をしながら早く帰ってきたいと思うこともありました。

学校で、みんながテレビやマンガのことで楽しそうに笑っている私には心から楽しいと思えて笑うことができません。学校の中でめまろがあっても、無関心を装う事が多く、浮いていて感じていました。たまた調子を合わせる事があっても、それは上べだけの付き合い方をしていたにすぎなかったのです。

でもある日、部活をやっているとき、「私、学校来るのやだ」と言ってみました。すると、「勉強いやだけど、遊んで楽しい」とか、「家に一人だとつまらないから、学校に来る方がいい

い」とか、いろんな言葉が返ってきました。これも部活のことです。ミーティングで、こう言った人がいました。「先生はある人をひいきにしている。その人が帰っていいですかと聞くと、すぐ帰すよ、私たちがだ、まだまだよ、という。ある人、とう言われたなあと思います。自分のことを非難されて、すくくいやな逃げだしたいような気持ちになりました。でも、ここで逃げては前と同じです。

「いつも早く帰ってごめん。すぐ疲れたりだるくなったりするけど、今度から最後までいるから」と素直に自分の気持ちを言いました。このミーティングの後、お互いに言いたいことが言えるようになりました。

いまま、相手の言うことに

適当にならずにいた私でしたが、勇気を出して、自分の方から色々な場面を言うことを試してみました。そしたら、私の気持ちを分かってくれようになり、自分と意見の合う友達を見つけたこともありました。

とともに、学校がとても楽しいものになってきました。

去年の学活の時間、運動会の実行委員を決めようとしたときのことで、だれも発言しなくて、教室は「しーん」としてしまいました。いままでの私なら、心の中で、はやくベルが鳴らないかな、なんて思っていました。けれども、この日はいつまでも我慢できなかったのです。思いきって、「A君がいいと思います」と言ってみました。最初A君はいやがりましたが、次第に私の意見に賛成してくれる人が出てきて、なかには、A君を説得してくれる人までいました。

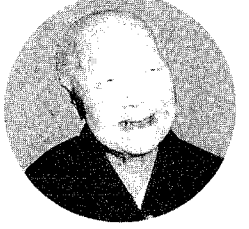
発言はしなくても、うなずいたり、首をふったりする人も出てきて、死んだようだった教室に活気ができました。私の言葉がきっかけとなって、学級の雰囲気が変わりました。

黙っていたり、無関心でいることは、何の解決にもなりません。積極的な働きかけをするこ

秋の火災予防運動

今年も秋季火災予防運動が十月二十六日から十一月一日の間で県下一斉に行われます。消防団では、火災予防運動期間中、午後八時に一点四十分の半鐘を鳴らしますのでお知らせします。

竹内エナさん死去



当町出身で昭和六十一年から県内最長寿だった竹内エナさんが、去る九月十二日午後五時三十一分、入所先の新潟市西有明町の特別養護老人ホーム「松風園」で、老衰のため死去されました。竹内エナさんは明治十五年八月十日生まれで百七歳でした。

謹んでお悔やみ申し上げます。

